

一般質問通告書(平成 22 年 6 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 2番 村上 和子 1 旭川で出産する場合の交通費助成を (町 長)</p>	<p>富良野協会病院の産婦人科常勤医師が3月31日に退職されたが、9月以降に出産を控えている方には旭川の病院を紹介しているようであるが、今後、協会病院に常勤の産婦人科医師が着任されることになるのか、見通しとしてはどうなのか。めどがつくまで、これらの人に対して町独自の交通費の助成など考えられないか。</p>
<p>2 空き店舗、商店街の動向調査後の早急な商店街支援対策の取り組みを (町 長)</p>	<p>国の緊急雇用対策創出推進事業の一環として1名(平成22年6月1日~平成23年1月31日まで)雇用し、商店空き店舗及び商店街現況調査事業を行うことになったが、商工会としても会員の減少や店舗の減少など、今後の課題等も掌握していると考え。今後の調査で、さらに詳細に動向が見えてくると考えるが、 空き店舗対策としての支援(利用して店舗を出店する場合の補助) 店舗老朽化のリフォームに対する支援 店舗廃業された方の空き地を借用してのイベント(朝市やフリーマーケット)等に対する支援、市街地活性化に対する振興条例策定が必要であり、早急な商店街支援策を考えるべきではないか。</p>
<p>3 保育料基準額の区分の細分化で保育料を支払いやすくしてはどうか (町 長)</p>	<p>町内には保育所施設が中央保育所、西保育園、わかば愛育園がある。これらの保育所の保育料の基準額は8階層に区分され、第1階層は生活保護による被保護世帯の3歳未満児、3歳児、4歳以上児の場合0円。第2階層の3歳未満児の場合、非課税世帯で8,500円となっている。 これを富良野市と比べると、富良野市では14階層に分かれており、第1階層は当町と同じ0円であるが、非課税世帯の3歳未満児の第2階層で上富良野町8,500円、富良野市4,320円。第3階層で上富良野町18,500円、富良野市12,990円と富良野市のほうが安くなっている。 また、第4階層からは当町は5区分であるのに対し、富良野市は11区分に分かれている。これを富良野市のように細分化できないか。また、このほうが保育料として支払いやすいのではないかと考えるがいかがか。</p>

<p>2 6番 今村 辰義</p> <p>1 定住・移住施策の具体的な促進を (町長)</p>	<p>第5次上富良野町総合計画による人口の将来予測は、我が町でも現在の減少傾向が続くと、平成30年には11,500人程度に人口が推移することが予想されるとしている。(これは、本町に駐屯する自衛隊員構成の大規模な配置移動による人口変動の動きを取り除いた推計である。)基本構想で目標人口を、産業振興による雇用機会の創出、子育て・成長環境の充実や健康で生活し続けるための保健福祉施策を進め、毎年新たに40人の定住者・移住者確保をめざし、平成30年の人口目標を11,900人とするとしている。しかし、それを反映する基本計画は、「新規定住の促進」として、「年間の町への新規定住者数を40名」と数値目標のみを示し、年間40名の人々をいかにして移住・定住してもらうのかとの具体的なものはまだ示されていない。</p> <p>また、「全国各地から、本町への移住者や移住に関する問い合わせが増加している。」とある。そこで、その問い合わせの現況について、及び定住・移住促進の具体的なプランについて(私は定住・移住促進の鍵の1つは「素晴らしい景観に思いを寄せる人達の心をくみ取る」ことがキーポイントの1つと考えている。)そして、平成30年度に人口目標を11,900人とする総合計画に変わりはないのかについての3点について町長に伺いたい。</p>
<p>2 現地積でのパークゴルフ場コースの増設を (教育長)</p>	<p>平成15年に開設した、日の出地区のパークゴルフ場は、当時の町議会の意見により、3コース27ホールに決定した経緯があることは承知しているが、近年の大きな大会は国際大会公認の4コース36ホールで行われるので、町ではその手の大会を催すことができない。もし、町で大会が開催できれば、当日はもちろんのこと、コースに慣れるために数日前から練習に訪れる人も多くなると思われ、宿泊・飲食など経済効果が大いに期待でき、さらに観光客の増加にも寄与すると思われる。</p> <p>現実には、富良野沿線での大会となると、6コース54ホールのパークゴルフ場がある隣の町などで開催され、町はみすみす経済的・かつ観光的恩恵を手放しているといっても過言ではないと思う。</p> <p>パークゴルフの有識者の方々に聞くとところによると、現在の3コース27ホールのコースはそのまま使用しながら、すなわち閉鎖することなく、現地積のままで練習用グリーンや道路を活用して、4コース36ホールに改造することができるそうである。現地積より増やさないのでから用地取得のお金もかからない。経済的な効果、観光客の誘致、町民の健康増進などの観点からも、ぜひコースの増設に踏み切るべきと思うがいかがか。教育長の考えを伺いたい。</p>

<p>3 1番 岡本 康裕 1 マイマイガ対策について (町 長)</p>	<p>昨年に異常発生したマイマイガの卵がふ化し、今年も幼虫となって建築物の壁をはじめ、広い範囲を覆い尽くす事態になっていた。平成21年の第3回定例会において、マイマイガ対策についての一般質問があった中で、町は「自衛策に関して有効な情報があるときは積極的に情報提供していく」旨の回答があった。また町長と住民会長との懇談会においてもマイマイガ対策として、街路灯の交換の話が出たが町として街路灯整備は行わないとのこと。今年度は、町民に対して防災無線による注意を促す放送があったが、今後、より具体的な情報の提供、幼虫の駆除等、積極的な方策を取るべきと考えるが町長の考えを伺いたい。</p>
<p>2 これからの上富良野観光振興について (町 長)</p>	<p>我がまち上富良野は、秀峰十勝岳を東に戴き、町花ラベンダーが咲き乱れ、食においては豚サガリをはじめとする新鮮な農畜産物があり、我がまちを観光する人々を魅了している。近年においては、東アジアを中心とする観光客が増加の傾向にある。特に中国において、7月には個人ビザが大量に発給され、中でも人気の高い北海道・富良野地域の入り込みが見込まれている。</p> <p>我が町のこれからの観光において中長期の観光ビジョンを明確にし、我が町を訪れる人々におもてなしの心を持って接する事ができるような事が必要と考えるが、町長の観光に対する考え方を伺いたい。</p>
<p>3 次代を担う若者の連携について (町 長)</p>	<p>我が町には農業・商工業後継者、役場職員、自衛官等、多くの青年が在住している。また職域における青年活動も活発に行われている。しかし各々の活動は盛んでも、横の連携が希薄であるように感じる。まちを元気にするためには上富良野に住まう青年達が、これからの上富良野を語りあう場が必要だと考えるが、町長の見解を伺いたい。</p>
<p>4 5番 米沢 義英 1 介護施設について (町 長)</p>	<p>介護保険事業計画に基づいて上富良野町には、特別養護老人ホーム50床とグループホーム9床、老人保健施設28床が設置されている。また上富良野町の人口推計では、平成26年度には高齢者人口26%になると推計されているが、現在の介護施設では入所希望する人を受け入れるには限界があると考え。特別養護老人ホームやグループホームなどの増床の計画について伺いたい。</p>
<p>2 グループホームホープについて (町 長)</p>	<p>1、道内のグループホームで火災が発生し、防火管理上の問題点も指摘されていますが、上富良野町に設置されているグループホームホープにおけるスプリンクラー設置の状況と町独自の補助政策も考える必要があると考えるが今後の対応について伺いたい。</p> <p>2、ホープは認知症対応型のグループホームとして開設されましたが、18床の入所施設を持ちながらいまだに9床しか稼働していないが、町として今後、さらに、9床を認める考えがあるのか伺いたい。認められないとすれば、その理由について伺いたい。</p>

<p>3 富良野協会病院の産婦人科の閉鎖について (町長)</p>	<p>富良野協会病院では、産婦人科の常勤医師が退職し、現在は派遣医師で8月まで対応するとのことだが、富良野圏域に産婦人科が無くなるのは、母子の健康を守るうえからも大問題だと考えるが、富良野圏域として今後どのように取り込まれるのか、また、町長としてどのように対応されるのか伺いたい。</p>
<p>4 子どもの医療費無料化枠拡大について (町長)</p>	<p>今、各自治体では、子ども健康管理と子育て支援を抱き合せた、子ども達の医療費の無料化枠拡大を実施あるいは検討をしている自治体がすでにあり、中富良野町では、中学校卒業までの医療費の無料化を実施している。今後、町で中学校あるいは小学校卒業までの医療費の無料化を実施した場合の必要経費の試算をし、今後の対応を検討すべきだと考えるが、町長の今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 7番 一色 美秀 1 商店街活性化対策について (町長)</p>	<p>1 担い手サポート奨励金交付について、 農業、商工業に従事する後継者の育成と確保のため、1人当たり2年間総額48万円を支給するとあるが、後継者そのものが非常に少ない現状にあり、もっと対象者を拡大して親子関係でなく、第三者であっても助成が受けられるよう制度の内容を拡充すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2 地元商店の利用について 町長、町議、職員に対するボーナス支給の半額を 地元生産の米を購入する券 商工会発行の商品券 で支給する。この点について検討する考えはないか。</p> <p>3 人材センターの設立について 魚屋、呉服屋、靴屋、本屋など「屋」のつく昔ながらの個人商店が姿を消している。このままでは本当に商店街はゴーストタウン化する。 高齢化社会を迎えて、密接したサービスを提供できるのは個人商店である。これまで上富良野の生活の発展の中で果たしてきた役割もあり、時代の変革があっても消え去る存在であってはならないはずである。新しい時代を迎えて、その存在感を示す時が必ず来ると信じている。 そのため、当事者が出資し、各専門分野の人材を発掘し、登録して人材バンクを設立する。各店は定期的に利用し、後継者不足の解消と店の活性化と戦力アップを図る。 その一環の助成として町より資金面の支援とその組織作りのため、官と民が一体となって人材センターの設立に取り組む考えはないか。</p>